

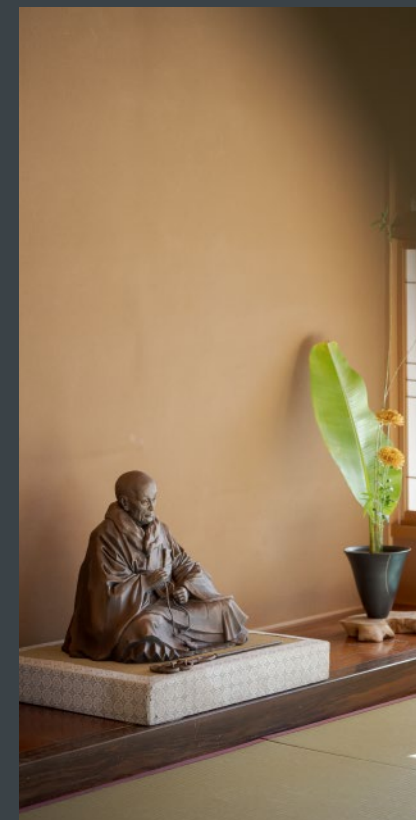
愚禿

i
g
u
t
o
k
u
i

親鸞聖人像



【本体】奥行:45 cm、横幅:54 cm、高さ:50 cm、重さ:4.1 kg
【台座】縦横:65 cm、高さ:2.5 cm 【本体素材】FRP(樹脂)



善巧寺

現代作家による令和の親鸞聖人像

「愚禿 gutoku」は、2024年春に富山県黒部市の善巧寺アート企画において、美術作家・清河北斗氏が制作した親鸞聖人像です。本願寺伝来の「安城御影」や「熊皮御影」をもとにしつつ、作家ならではの創意を随所に加え、これまでにない親鸞聖人像が完成しました。油粘土で仕上げた原型をFRP（樹脂）に複製し、清河北斗氏が塗装を施しています。

制作・清河 北斗（きよかわ ほくと）

美術作家、富山県在住、東京芸術専門学校卒
2009年 STUDIO/HOT 設立。2011年パリジャパンエキスポ出展、2015年個展「仮様」下山芸術の森発電所美術館、2017年「舞台の上の美術館Ⅱ 巨無と虚無」AUBADE HALL 富山、2023年清河北斗展「SCULP FICTION」@bt 東京、2024年展覧会「愚禿 gutoku」善巧寺など。

監修・雪山 俊隆（ゆきやま としたか）

富山県黒部市、浄土真宗本願寺派善巧寺第22代住職。音楽イベント「お寺座LIVE」やアート企画「オテラ・ザ・エキシビジョン」を主催するなど文化的な活動を行い、定例法座「ほっこり法座」など、伝統的な行事の復興にも力を注ぐ。

QRコード



公式サイト



オンラインショップ



清河北斗
web サイト